

平成20年度 主な防衛施設周辺整備事業

高島市には、自衛隊の饗庭野演習場が所在しています。その周辺地域の生活環境の整備を行なうため、平成20年度は、合計3億5,676万円の補助金・交付金を防衛省から受け、各種事業を実施しました。
※（ ）内は補助金額

○防災行政無線の整備	1億5,750万円	(1億1,813万円)
○高規格救急自動車(南部消防署)	2,303万円	(1,419万円)
○市道の改良・道路照明灯の設置	1億412万円	(9,577万円)
○小学校情報教育用パソコン	440万円	(400万円)
○公立高島総合病院医療機器	1億2,400万円	(1億2,067万円)

ほか

このほか、固定資産税に替わる相当分として、使途に制限の無い国有提供施設等所在市町村助成交付金(いわゆる基地交付金) 2億1,941万円が交付されています。



X線テレビ装置 (高島総合病院)



高規格救急自動車 (南部消防署)

高島市の健全化判断比率の状況

自治体財政の破綻を未然に防ぎ、財政状況が悪化した自治体に対して、早期に健全化を促すため、平成19年6月に財政健全化法が制定され、公表することが義務付けられました。

健全化判断比率は、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの比率を基準として判断し、どれも1つでも基準を上回ると早期健全化

7億2,108万9千円(3.0%)の増額となりました。目的別に見ると、都市計画道路整備や河川整備の事業費の減少で土木費が前年度に比べて5.9%減ったのをはじめ、今津東小学校体育館の整備が完了したことで教育費が6.4%減りました。一方で、地域経済緊急支援事業により商工費が19.7%、消防自動車の購入により消防費が17.9%、高島病院建設費により衛生費が11.6%それぞれ増えています。

性質別に見ると、行財政改革や財政再建計画などの取り組みにより、人件費が5,586万1千円(1.0%)の減額となりました。しかし、繰上償還を行ったことで、公債費は前年度に比べ1億1,361万1千円(2.7%)の増額となり、義務的経費は0.6%の増となりました。また、高島病院建設により補助費が14.8%増え、一般行政経費は4.3%の増となりました。

投資的経費は、都市計画道路整備や河川整備、学校整備の完了などで6.5%減り、簡易水道事業特別会計や農林業集落排水事業特別会計の繰上償還に伴う繰上金で12.3%の増となっています。

歳入歳出差し引き額は、1億79

基金残高 (平成20年度末の基金(積立金)の残高状況は次のとおりです。)

会 計	H19末現在高	H20年度中増減	H20末現在高
一般会計	88億14万円	△3億757万円	84億9,257万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	225万円	△225万円	0円
簡易水道事業特別会計	2,705万円	△2,705万円	0円
農林業集落排水事業特別会計	1,288万円	6万円	1,295万円
マキノ白谷温泉事業特別会計	243万円	44万円	288万円
介護保険事業特別会計	2億5,093万円	1億547万円	3億5,641万円
訪問看護ステーション事業特別会計	1億647万円	△714万円	9,933万円

9万8千円で、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支は8億8,279万6千円の黒字となりました。しかし、地域経済はまだまだ厳しい状況にあり、特に市税が回復基調に転じるまでには時間がかかる見込みです。今後とも国や県による経済対策を活用しつつ、経費節減を図りながら限られた財源の中で、市民の皆さんが安心して生活できるように取り組んでいきます。

地方債現在高 (平成20年度の借入および償還状況は次のとおりです。)

会 計	H19末現在高	H20発行額	H20償還額		H20末現在高
			元 金	利 子	
一般会計	357億7,575万円	12億7,385万円	37億1,216万円	6億276万円	333億3,744万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	1億5,000万円	5,000万円	5,000万円	0円	1億5,000万円
国民健康保険特別会計(直診勘定)	1,403万円	0円	237万円	19万円	1,166万円
老人保健医療特別会計	0円	0円	0円	0円	0円
後期高齢者医療事業特別会計	0円	0円	0円	0円	0円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	464万円	0円	151万円	20万円	312万円
簡易水道事業特別会計	23億3,448万円	4,380万円	2億5,000万円	5,719万円	21億2,828万円
農林業集落排水事業特別会計	51億200万円	0円	3億8,948万円	1億5,344万円	47億1,251万円
下水道事業特別会計	247億6,688万円	6億7,550万円	9億9,754万円	5億4,520万円	244億4,483万円
マキノ白谷温泉事業特別会計	899万円	0円	178万円	3万円	720万円
市営バス事業特別会計	310万円	0円	0円	4万円	310万円
熱供給事業特別会計	7,052万円	0円	546万円	113万円	6,506万円
土地取得特別会計	0円	0円	0円	0円	0円
介護保険事業特別会計	8億5,875万円	0円	1億8,240万円	1,737万円	6億7,634万円
訪問看護ステーション事業特別会計	0円	0円	0円	0円	0円
上水道事業会計	14億7,702万円	0円	3億8,308万円	5,763万円	10億9,394万円
病院事業会計	10億4,942万円	1億円	1億9,015万円	4,453万円	9億5,927万円
介護老人保健施設事業会計	5億5,580万円	0円	2,251万円	1,540万円	5億3,328万円

バランスシートから見る市の財政状況

計画または財政再生計画を策定し、早急に改善に取り組みなければなりません。

平成20年度高島市の健全化判断比率は表のとおりです。

昨年度に引き続き、実質公債費比率は地方債の発行に許可が必要となる18%を超えました。また、将来負担比率は繰上償還の実施などにより、昨年度に比べおよそ25ポイント改善しましたが、依然高い水準となっています。

平成20年度はいずれの指標も基準を下回りましたが、依然として財政状況は厳しく、事業の優先順位を見極め、市民の皆さんが安心して暮らせるよう健全な財政運営に努めてまいります。

	高 島 市	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	黒字のため該当せず	12.67%	20.00%
連結実質赤字比率	黒字のため該当せず	17.67%	40.00%
実質公債費比率	19.60%	25.00%	35.00%
将来負担比率	202.20%	350.00%	なし

【実質赤字比率】 普通会計でどれくらい赤字があるか。
【連結実質赤字比率】 特別会計や事業会計などすべての会計を含め、市全体でどれくらいの赤字があるか。
【実質公債費比率】 経常収入に対し借金返済にどれくらい充てているか。
【将来負担比率】 将来どれくらいの負担が見込まれるかを示すもので、地方債残高から基金現在高を控除した純債務残高を標準財政規模で除したものの。

高島市では、市の財政状況を今までと違った視点からとらえるために、企業が取り入れているバランスシート(貸借対照表)を作成しました。従来、市などの決算は、家計簿と同じように、「その年に市税などの

お金がいくら入り、道路や学校を整備するのにいくら使ったか」という単年度のお金の出入りしか分かりませんでした。これに対し、バランスシートは、市民が安心して快適に生活するため